



ラインボー

URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~ushouh/yasuragi/>

TEL・FAX 0767-22-0345

今年の冬は、北陸を中心に何十年に一度という記録的な大雪となり、人々の生活に甚大な被害をもたらしました。金沢の積雪量は平年の6倍以上を記録し、県下の小・中・高・特別支援学校で休校が相次ぎました。やすらぎ羽咋教室でも1月12日のSV、SSW相談が大雪のため急遽、中止となり、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

一方、うれしいニュースとしては、平昌オリンピックでの日本選手の活躍がありました。スピードスケート女子500mで金メダルを獲得した小平奈緒選手は日本中に感動をあたえてくれました。小平選手をこれまで支えた言葉は「顔晴（がんばれ）」。「本当の頑張りは、顔が晴れること。辛く悲しい時でも笑顔を忘れてはいけない」というコーチからの助言を糧にここまで笑顔を忘れずに頑張ってきたそうです。

私達も笑顔を忘れず、一日一日を過ごしたいものです。

月別相談延べ回数

2月の相談件数は26日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
来所相談	3	9	10	11	0	7	7	7	7	5	7	73
訪問相談	0	4	0	6	0	0	0	2	0	0	0	12
電話相談	0	2	1	0	0	1	1	0	2	2	0	9
合計	3	15	11	17	0	8	8	9	9	7	7	94

1年を振りかえって

記録的な寒さや積雪となった冬も終わり、ようやく待ち遠しい春がやってこようとしています。この「やすらぎ羽咋教室」の窓から降り注ぐ太陽の光も眩しく、躍動感あふれる季節も目の前に迫ってきています。

今年度は、現在のところ通室生はいませんが、問い合わせ等の件数は決して少なくありません。様々な事情で悩みを抱えている生徒やその保護者の心情を察すると、いたたまれない気持ちに襲われます。

さて、やすらぎ教室の設置目的の一つに《学校や社会生活に適応する力を育てる》というものがああります。この《適応する力》とはどのようなものなのか、それをどのように《育てる》のか非常に難解な目的であると思います。逆に言えばその目的を達成することによって、多くの生徒やその保護者が救われるのだとも思います。お気軽にこのやすらぎ教室を利用いただければ幸いです。

やすらぎ羽咋教室 副室長 岩城利之

「洋菓子づくり」体験学習会（2/26）

焼き菓子やケーキで有名な羽咋市の洋菓子店「ベルン」の川西明子さんを講師に招き「洋菓子づくり」体験学習会を行いました。今年は桃の節句も近いのでお雛様にちなんだデコレーションケーキにチャレンジしました。材料の説明を聞き、先生に作り方のポイントを実演していただきながら、一つ一つ丁寧に作り上げました。オリジナルのデコレーションケーキが出来上がり、家のおみやげに持って帰りました。

今回は各教室のスタッフなどが参加し、洋菓子づくりを通して和やかに交流をしました。



室長から開会のあいさつがありました



ケーキの生地を作っています



生クリームをぬっています



おいしそうなケーキが完成しました



カウンセラーとして

児童家庭支援センター

あすなろ子育て広場

臨床心理士 田幡 啓子

「ぼくは最後にありがとうと言う」。大学の講義で、カウンセリング終結の時に来談者にその先生が伝える言葉として紹介されました。何の経験もなかった私は、お別れなのになぜさよならではないのだろうと思ったことを覚えています。その後、私もカウンセラーとなり終結を経験することになりました。相談に来られていた生徒さんは、文字通り事故のような形で苦しみを抱えることになり、私の前に現れました。決して順調とは言えないカウンセリングでしたが、自分のところとの対話を続ける力のある生徒さんでした。終結の日、「最初は言葉だけで良くなるわけないって思ってたけど・・・」とうっすら涙を浮かべたその顔を見て、その生徒さんの人生の大切な一部につき合わせてもらえたことに、その生きる姿に感謝し「ありがとう」という言葉しか出ませんでした。人の大切な人生に関わらせてもらっていることを忘れずに今日も相談の場にいたいと思います。